

令和 3年 8月31日

記者会、記者クラブ 各位

『東海クライマックスシリーズ』を開催します

～学生たちが企画・設計、製作した飛行ロボットから
両大学の優秀機を選抜し、東海 No. 1 を決める対抗戦を実施します～

国立大学法人東海国立大学機構（以下、「東海機構」）航空宇宙生産技術開発センターは、岐阜メモリアルセンター（ふれ愛ドーム）において、岐阜大学／名古屋大学の学生が企画・設計、製作した飛行ロボット（自律滑空機）の中から優秀機を選抜し、東海 No. 1 を決める対抗戦、『東海クライマックスシリーズ』を、以下のとおり開催しますのでお知らせします。

本センターでは「地方大学・地域産業創生交付金」を活用して、岐阜県や岐阜大学、名古屋大学、地元産業界との産学金官連携により、大学生や就業者を対象とした航空宇宙産業の「生産技術」に関する人材育成と研究開発を実施する「航空宇宙生産技術人材育成・研究開発プロジェクト」を推進しています。

令和2年4月の東海機構設立に伴い、岐阜大学と名古屋大学が連携して、今年の4月から本格実施を開始した、設計技術・生産技術・飛行実証技術を一貫して習得・実体験できる「航空宇宙設計・生産融合人材育成プログラム※」の一環として、岐阜大学では工学部所属の4年生、名古屋大学では工学部所属の3年生を対象とした授業の中で、複数の学生でチームを編成し、協力して飛行ロボットの構想・設計、およびその製作を行います。

この東海クライマックスシリーズは、各大学にて事前に飛行発表会を実施し、その中から選抜された優秀機を一堂に会して、どの機体がどこまでうまく飛行させられるかを競うものとなり、学生が作製した機体の東海 No. 1 を決定するものとなります。

つきましては、取材のほどよろしくお願ひします。

記

1. 日時：令和3年9月29日（水）13:30～16:30

- ・第一部：飛行ロボット競技会 13:30～14:35
- ・第二部：飛行ロボット大反省会 14:55～15:55（表彰式含む）
- ・第三部：特別講演 16:00～16:30

2. 場所：岐阜メモリアルセンター（ふれ愛ドーム） ※次ページの地図参照

3. 参加予定者：

- ・岐阜大学工学部学生 14名、名古屋大学工学部学生 7名
- ・国立大学法人東海国立大学機構 機構長 松尾清一（名古屋大学総長）
- ・国立大学法人東海国立大学機構 副機構長 森脇久隆（岐阜大学学長）
- ・名古屋大学大学院工学研究科 原進教授、航空宇宙生産技術開発センター 伊藤和晃准教授 他

主催 東海国立大学機構航空宇宙生産技術開発センター

後援 岐阜県

開催協力 名古屋大学全学同窓会、川崎重工業株式会社

問い合わせ先

- ・東海国立大学機構 名古屋大学大学院工学研究科 教授 原進
Tel: 052-789-4416 E-mail: haras@nuae.nagoya-u.ac.jp
- ・東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発センター 人材育成部門長 伊藤和晃（岐阜大学）
Tel: 058-293-2404 E-mail: kazu_it@gifu-u.ac.jp

《特別講演会の概要》

【演題】

「航空機加工技術概要 ―その歴史と最近のトピックス―」

【講師】

川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー 酒井 昭仁フェロー

＜参考＞

■「航空宇宙設計生産融合人材育成プログラム」について

岐阜大学と名古屋大学が連携して令和3年4月から本格実施する、設計技術・生産技術・飛行実証技術を一貫して習得・実体験できる「設計技術型人材」と「生産技術型人材」を育成する、国内に前例のない人材育成プログラムです。

参考 URL: <https://www1.gifu-u.ac.jp/~ipteca/program/university/>

＜開催場所＞

岐阜メモリアルセンター（ふれ愛ドーム）

〒502-0817 岐阜市長良福光大野 2675-28 TEL. 058-233-8822



※ふれあいドームは体育館です。入室はドーム正面入口からお願いします。その際、ご署名や検温（当日の朝に自宅等で検温いただいても結構です）の手続きが必要です。また上履き（スリッパや体育館用シューズ、靴底のきれいなシューズなど）をご持参ください。